

特集

「世紀の恋」の主人公 開田



「蘇山荘」室内で撮った写真。大佐はHさんのサイン帳とペンを手にしている

やさしかった
タウンゼント大佐

Hさん（諏訪市）の話

☒当時、代官屋敷の近くに住んでいたHさんは大佐が「蘇山荘」に滞在していることを知り、英語が話せることから直接会いに行きました。

☒Hさんが訪ねて行くと、通訳もおらずタウンゼント大佐は庭に一人でいました。Hさ

んは大佐と会話し、ものおじせず「写真を撮って良いですか？」とたずねると大佐は「こんな感じで良いかな」とポーズをとってくれたそうです。またサインを求めると気持ち良く応じてくれた大佐。その時の具体的な会話の内容は憶えていないが、大変ささくでジェントルマンだったという。

☒Hさんの話によるとタウンゼント大佐は昭和32年5月29日木曾福島町にやって来て、翌30日開田高原へ行き、31日の午前中にHさんと会ったそうです。このことから大佐は「蘇山荘」に滞在したことが分かりました。



大佐のサイン

右下にHさんが記入した日付があり

1957年5月31日にもらったことがわかる

大佐の見た開田高原

☒タウンゼント大佐は昭和32年5月30日に日帰りで開田高原に来たことがわかりました。大佐の見た開田高原は今より山に木が少なく、広い採草地と石置屋根の民家がある素朴な風景だったことでしょう。また大佐が忘れな草を見て故郷の英国を想ったという話を聞いた、という情報も寄せられています。

☒今回、ご紹介した以外にも多くの方々より情報を頂きました。ご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。



大佐の写真とサインを前に当時を偲ぶHさん